

令和7年度入学者選抜試験問題（総合型選抜Ⅰ）
（地域学部地域学科国際地域文化コース）
「課題論文」出題意図

今年度は、『サイボーグになる——テクノロジーと障害、わたしたちの不完全さについて』（キム・チョヨプ、キム・ウォニョン著、牧野美加訳、岩波書店、2022年）に収録されている「つながって存在するサイボーグ」を課題論文の資料として用意した。

骨形成不全症のため車椅子ユーザーである著者のキム・ウォニョン氏は、対面によってもたらされるものは、戸惑いや不快感であるかもしれないが、友情や歓待、愛、連帯などに出合うこともあるという。テクノロジーが進化するとともに、コロナ禍を経て対面の機会が減少しつつある現代社会において、他者と直接会う「対面」による相互作用の価値について見解を述べている。

問1では、著者が他者と対面することの意味をどのように考えているか、簡潔に要約できるかを問うた。

問2では、テクノロジーの進化がもたらすメリットとデメリットを考察し、さらに差異をもたらす他者との関係構築をどのように捉えるのか、受験生自身の言葉で論じることができるかを問うた。

評価の観点は、①資料の要点を読み解く力、②内容の論理的・一貫性や説得力、③文章表現の技法等である。以上の観点から、「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「創造性」を総合的に判断する。